



## 福岡県立東筑高等学校

### 「伝統」と「革新」、本物の力を育てます

東筑高等学校は平成 30 年度に創立 120 年を迎えます。120 周年のキャッチフレーズ「東筑大還暦」（還暦を 2 回経た長寿を慶ぶ意味が込められている）は、個性と創造力豊かな生徒による作品です。120 年という年月をかけて培われた「文武両道 質実剛健」の精神を大切に、守るべき伝統を継承する一方、教育基本方針に「進取の気象」を掲げ、常に時代の変化に対応し、成長し続けています。



#### 教育改革への対応

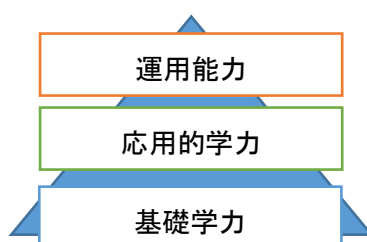
社会が求める人材の変化によって教育の目標が変化しています。高等学校では 2022 年度から新しい学習指導要領が実施されます。また、すでに高大接続改革が進行し、大学教育も大学入試も変化しており、これらの変化は「明治以来の大改革」とも言われています。

時流をとらえつつ、高校教育の一層の充実をめざし、本校ではさまざまな取組を進めています。（裏面）

## 1 資質能力の育成

今後は「何を知っているか」だけでなく「何ができるか」つまり、思考力・判断力・表現力などの資質・能力がより重視されるようになります。大学入試において、国語・数学では2020年度に実施される大学入学共通テスト（現在の大学入試センター試験から名称変更）から記述試験が入り、英語では「読む・聴く」力の2技能を測る大学入試センター試験と「書く・話す」力を加えた4技能検定試験の併用が検討されています。各大学が実施する個別学力試験もさらに資質・能力重視型に変化すると予想されています。

### <教科の授業改善例>



英語4技能の育成を充実するため、「聞く・話す」場面を多く設定した授業を行い、また、授業の効率化を図るため、ICTを活用しています。国語・数学では、従来からの記述力を重視した指導を更に発展させた指導を行っています。また、「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのアクティブ・ラーニング型授業の構築をめざし、全教科でその効果的な実践を推進しています。

### <SSHの探究的な取組>



本校は平成25年度からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受け、教育改革に先行した取組を行っています。たとえば、学校設定科目「トータル・ロジックス」の一環として「論理コミュニケーション」に取り組んでいます。この科目で意見の構築方法を理解し、論理的思考力、表現力を養います。その力を「課題研究」（問題を発見しそれを解決する能力を身に付け、論文を作成する）や「志望理由書」（自己の進路目標を明確にする）の作成で伸ばさせて、キャリア教育につなげています。

### <SSHプログラム「ジニアス研修」(希望者)>

「グローバルジニアス研修」では主にアメリカの世界最先端の研究施設見学や大学・高校訪問などを行います。

国際的に活躍するスペシャリストに直接触れ、現地の学生と意見交換することで、視野が一気に広がります。

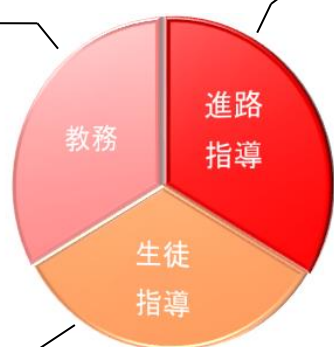
「国内ジニアス研修」では、東京大学、京都大学や日本のトップ企業の訪問を行います。日本の研究の中枢を肌で感じることで、探究心が深まり、学問に対する意識が変わります。

「北九州ジニアス研修」では、アジアの中心で活躍する方々を本校に招いて、英語でディスカッションを実施します。一つの研究テーマを深く掘り下げ、国際的視点を持って海外のスペシャリストと意見交換をする稀有な体験ができます。

## 2 教育体制のマネジメント

時代に合った組織改革を進めています。

教科横断的な科目の設定など、これからの時代に必要な学力を、より効率よく身につけるカリキュラムづくりが進行しています。



学びの記録のためのICTシステムの導入、新しい学力を正確に測定し、客観的な評価指標に基づいた指導をするための模擬試験等の厳選、より効果的な課外授業の実施、入試情報の精選と提供など、生徒一人一人のニーズに合ったキャリアガイダンスを充実させています。

学校生活をより充実させるため、校内ルールを見直しています。  
また、学校行事を通して生徒の主体性・社会性を育成し、他者と協働するための基本を身に付けさせます。